

# 平成27年度栃木県養護教育研修会が開催されました。(参加者478名)

日時 平成27年11月9日(月)

場所 栃木県総合文化センター大ホール



## 1 開会

### 2 会長あいさつ 栃木県養護教育研究会 会長 増淵正典先生

専門職とは高度な技術が要求される。教職も専門職なので、職務を遂行するために常に研修と修養に努めることが必要とされる。研修を重ねてきた昭和24年発足の養護教育研究会はすばらしい。

### 3 来賓あいさつ 栃木県教育委員会事務局 健康福利課長 伊藤 満 様

伊藤様の代理として大牧様にご挨拶いただきました。

アレルギー、心的ストレス等きめ細やかな対応が必要となる。インフルエンザ、胃腸炎について今シーズンの流行が懸念されるため、手洗いの励行とともにデータの活用で予防に努めて欲しい。水害については、得られた教訓を今後の対応に役立てていきたい。

## 4 講話「学校保健の現況について」

講師 栃木県教育委員会事務局健康福利課 保健給食担当 指導主事 大森 和枝 様  
○児童生徒の健康診断について

- ・事後措置として「異常なし」も通知すること。一覧表や学期末のお知らせでも可。
- ・寄生虫卵の有無の検査は、地域性に配慮することから各市町によって異なる。
- ・色覚の検査「検査が可能であること」を保護者に知らせる。検査結果の取り扱い（健康診断票の記載や進学先に知らせるかどうか）は、保護者の了解を得るなどプライバシーに注意。
- ・「児童生徒等の健康診断マニュアル」の活用について。特に付属の成長曲線・肥満度曲線を利用して欲しい。
- ・**四肢の状態の保健調査の項目**については、県医師会と県教委で検討中。年内に草案ができる予定。**参考）運動器検診マニュアルビデオ 平成27年11月3日一部改訂版 一般社団法人岩手西北医師会制作【動画】<https://youtu.be/c4x0LqgT9IA>**
- ・「視力検査」「歯科および口腔の疾患及び異常の有無」についても若干の変更点がある。

## 5 研究発表

### ①「効果的な健康教育を目指して

～立腰（姿勢）指導の実践について～

発表者 那須烏山市立境小学校 佐藤文美枝先生  
那須烏山市立馬頭小学校 近藤 稔子先生



### ②「豊かな心を持ち たくましい 実践力につながる健康教育

～小・中連携を生かした全中学校区での取組をはじめて～

発表者 小山市立乙女小学校 糸雅 綾子先生  
小山市立乙女中学校 古川 幸子先生



## 6 内地留学報告

- ①「健康相談活動における養護教諭のつなぐ支援について  
～校内でのチーム支援に焦点をあてて～」  
那須塩原市立槻沢小学校 鈴木 俊恵先生
- ②「教育相談的関わりに預手広がる心の健康づくり  
～施設訪問先から学んだことを生かして～」  
足利市立御厨小学校 岡澤 直美先生



## 7 講演「保健室における問診のコツ」

講師 千葉大学医学部附属病院総合診療部 大平 善之先生

外来診療時間は7割ぐらいが10分未満。保健室の対応時間も一人当たりの平均は12～13分で外来診療と変わりません。時間が制限されているので情報の取り方、問診が重要です。



- 感 度：「いいえ」と答えたときに除外できる項目。
- 特異度：「はい」と答えたらその疾患であることが多い。
- 高頻度疾患（よくある病気）から考えるのが見逃しが少なくなる。
- 「キーフィーチャー」とは、何をもって他と区別するかという鑑別のポイントのことです。例えば、ひよことアヒルを区別するには、「水かきがあるかないか」を見ます。
- 診断は、他の疾患と区別すること。高頻度疾患のトップ30で一般外来患者の75%をカバーできます。高頻度疾患の知識理解が必要。
- 「ヒューリスティックスバイアス」キーフィーチャーに慣れてくると「こうに違いない」という早道思考、思い込みによる誤判断を伴う危険性がある。経験や自信がある人ほど陥りやすい。
- 効果的な引き算診断では、生物、心理、社会の要素において高頻度疾患をもれなく知っておくこと。「自分は知らない」という時に、調べたり人に聞いたりして見逃しを防ぐことができる。
- 具体的な疾患の話：片頭痛 急性上気道炎 伝染性単核症 うつ病



質問1) 上三川町立本郷小学校 竹村先生より

Q：ヒューリスティックスバイアスに陥らないように心がけていることを教えて欲しい。

A：忙しいと流してしまうが、少しでも引っかかった患者はフォローすること。「その後どうなったか」を確認することで自分がやったことの確認ができます。

質問2) 烏山高等学校 薄井先生より

Q：いろんな情報がある中で、短い時間で聞ける様式はありますか。

A：それぞれの症状で聞くことは異なります。瞬時に聞ける情報には限界があるので、メモを取るといいです。また、「何が一番つらいか」を聞いてあげることが近道になります。問診票も有効です。

## 8 閉会

